



Hideyuki Yokomae

A Vento dalla Toscana

帰るべき原点

画家になるための出発点は、21歳の学生時代に諏訪湖を遊覧する竜宮丸の部分デザインとひとりで小亀の頭（3m60cm）、足、尾の造形制作に携わったことから始まりました。

その自信を胸に、1976年欧州からアフリカまでスケッチブックと顔彩と時刻表を持って、自分の感性の向くまま、広い大地を旅しました。

自分の足で確かめるかぎり、終わりのない旅もわが道であることを知り、「常に自由であれ、常に否定的であれ」の精神経験を第一に独学で今日まで歩んできました。

中央アルプスと南アルプスに挟まれた標高780mの限界集落にひっそりと住み、朽ち果てゆく美しさや、浄化され再生してくる愛おしさを常に感じる雑木山を背負う廃屋の制作場で、眼を自然のなかに漂わせ、私自身の内面的宇宙を重ね、詩的経験を大切に生かしてこれからも遠い終着点までやり残した空白を埋めながら進みます。

諏訪湖・天と水と地・その間に立つ自分の明らかな場所。

世界の素朴派の画家たちが集い、何の理屈も及ばない新鮮な詩や歌が聞こえてくる、美しい美術館で個展を開催できることを誇りに思います。

横前秀幸

作家アトリエ：上伊那郡中川村大草1770 TEL:0265-88-2957



横前秀幸 Hideyuki Yokomae

- 1954 長野県高森町生まれ 中川村在住
- 1975 諏訪湖遊覧船 竜宮丸部分デザインと制作
- 1976 ヨーロッパ・北アフリカ放浪の旅
- 1986 パリの画家マッカポーイ、パロン・ルヌアール、ドゥブレ、カルズーと交流
- 1989 エジプト「9000kmの旅」フランスに派遣される（二科会）
- 1990 フランスサロン・ドートンヌ会員に任命される
- 1991 建築家毛綱毅曠ヨーロッパ巡回展のため芸術監督を担当する
- 1992 下伊那赤十字病院 陶壁画制作「愛」（400×200）
- 1997 長野オリンピック賛美 八十二文化財団ギャラリー82「記憶の大地」展
- 1998 長野オリンピック選手村エントランスロビー「歓声」展示（250×135）
- 2002 「サハラ砂漠からの展開」展 長野 八十二文化財団ギャラリー82
- 2003 文部科学省学校芸術家派遣授業により講師 ～2007年まで
- 2010 第29回損保ジャパン美術財団選抜奨励展出品
- 2011 震災被災地（南相馬）児童支援活動に参加 ～2013年まで
- 2012 第4回ビエンナーレ・うしく出品
- 2014 第99回二科展 内閣総理大臣賞受賞
- 2015 公募団体ベストセレクション美術2015出品 東京都美術館
- 2016 「イタリアからの手紙」絵本出版

二科展

パリ賞受賞（1989年）

損保ジャパン美術財団選抜奨励賞受賞（2008年）

内閣総理大臣賞受賞（2014年）

二科会会員・評議員・長野支部長



ハーモ美術館

公益財団法人 ハーモ美術館
〒393-0045 長野県諏訪郡下諏訪町 10616-540
TEL:0266-28-3636 FAX:0266-28-6446
info@harmo-museum.jp
http://www.harmo-museum.jp

